

平成28年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
6	01	01	01	広報発行事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	04	01	広報発行事業

実施計画整理番号	
601010101	
総合戦略整理番号	32303

PLAN (計画)	事務事業の概要	
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
	市民へ市政運営方針や各施策の考え方・内容・効果など行政情報を提供することで、市としての説明責任を果たしながら、市民と行政が互いの理解と信頼を深めることを目的とする。	的確で分りやすく親しみやすい紙面の作成に心がけ、新鮮かつタイムリーな情報提供を目的とし、月2回発行する。また、迅速に伝達することを目的として、新聞折込で配布しており、未購読世帯に対しては、各公共施設に配置するとともに、配送を希望する方にはメール便で対応している。
平成28年度の具体的な目標		
<ul style="list-style-type: none"> ・見やすく親しまれる紙面の構成 ・広報紙が未到着となっている世帯の減少 	平成28年度スケジュール	
	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月1日・15日の2回、37,000部を発行。発行日当日の朝刊に折り込む。 	

区分	単位	H26年度			H27年度			H28年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	17,483	17,483	16,287	17,483	19,521	19,216	17,483	21,379	20,393
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	33	33
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	17,483	17,483	16,287	17,483	19,521	19,216	17,483	21,346

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	広報もばらの発行	17,483	21,379	20,393	毎月1日・15日の2回、36,500部を発行。今後も市民に必要な情報を掲載するとともに、市民ニーズを踏まえた情報の発信に努める。
②		0	0	0	
③		0	0	0	
④		0	0	0	
⑤		0	0	0	
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		17,483	21,379	20,393	

平成28年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)
広報発行については、毎月1日・15日の2回、36,500部を発行。年間総ページ数328ページ。新聞折込については、33,065部(29年1月1日号)。新聞購読数により変動あり。

DO (実施)

平成28年度 事務事業評価シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
6	01	01	01	広報発行事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	04	01	広報発行事業

整理番号	
601010101	
総合戦略 整理番号	32303

28年度活動指標(アウトプット)の達成状況	28年度成果指標(アウトカム)の達成状況						
<ul style="list-style-type: none"> ・広報発行回数:24回 ・広報発行部数:876,000部 ・年間総ページ数:328ページ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェブページアクセス件数:1,637,521件/年(136,460件/月) ・マチイロ登録者数:520人 						
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">妥当性の評価とその理由</th> <th style="width: 33%;">有効性の評価とその理由</th> <th style="width: 33%;">効率性の評価とその理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> A:妥当である 行政情報を市民に迅速かつ的確に発信することは行政の責務である。 </td> <td> A:有効である インターネットが活用できない方も依然多く、広報紙などの紙媒体で行政情報を提供することは有効である。 </td> <td> B:やや効率的である 内容の更なる充実の為、ページ数の拡大、カラー印刷を検討する必要がある </td> </tr> </tbody> </table>		妥当性の評価とその理由	有効性の評価とその理由	効率性の評価とその理由	A:妥当である 行政情報を市民に迅速かつ的確に発信することは行政の責務である。	A:有効である インターネットが活用できない方も依然多く、広報紙などの紙媒体で行政情報を提供することは有効である。	B:やや効率的である 内容の更なる充実の為、ページ数の拡大、カラー印刷を検討する必要がある
妥当性の評価とその理由	有効性の評価とその理由	効率性の評価とその理由					
A:妥当である 行政情報を市民に迅速かつ的確に発信することは行政の責務である。	A:有効である インターネットが活用できない方も依然多く、広報紙などの紙媒体で行政情報を提供することは有効である。	B:やや効率的である 内容の更なる充実の為、ページ数の拡大、カラー印刷を検討する必要がある					
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">「情報の共有」の状況とその理由</th> <th style="width: 33%;">「参加」の状況とその理由</th> <th style="width: 33%;">「協働」の状況とその理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> A:実現している 広報・ウェブサイトでの公表 </td> <td> A:実現している 団体・グループの会員募集・イベント案内記事の掲載。市民紹介など。 </td> <td> C:実現の余地がない </td> </tr> </tbody> </table>		「情報の共有」の状況とその理由	「参加」の状況とその理由	「協働」の状況とその理由	A:実現している 広報・ウェブサイトでの公表	A:実現している 団体・グループの会員募集・イベント案内記事の掲載。市民紹介など。	C:実現の余地がない
「情報の共有」の状況とその理由	「参加」の状況とその理由	「協働」の状況とその理由					
A:実現している 広報・ウェブサイトでの公表	A:実現している 団体・グループの会員募集・イベント案内記事の掲載。市民紹介など。	C:実現の余地がない					
所管による評価とその理由、課題・問題点							
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上) 毎月1日・15日の2回、36,500部を発行。行政情報を迅速かつ的確に発信し、市民の利便性の向上を図るとともに行政運営の理解と市政参加への促進を図った。新聞未購読世帯に対しては、郵送および公共施設への設置、スマートフォンアプリによる配信などにより対応しているが、年々増加している。							
企画政策課での評価とその理由							
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上) 年間総ページ数の増加(316P→328P 前年度+12P)、i広報紙(マチイロ)登録者数(256人→520人 前年度+264人)とともに増加しており、情報提供の充実における取組として成果があったことが認められる。今後は、更に親しみやすい紙面づくりを行うとともに、マチイロ登録者数の増加に努めるものとする。							
政策調整会議での評価とその理由							
庁議における方針							

29年度活動指標(アウトプット)の設定	29年度成果指標(アウトカム)の設定
<ul style="list-style-type: none"> ・広報発行回数および発行部数 ・年間総ページ数 	<ul style="list-style-type: none"> ・広報紙による発信情報の認知度(ウェブページアクセス件数・マチイロ登録者数)
29年度における事務事業スケジュール	
毎月1日・15日の2回、36,500部を発行。発行日当日の朝刊に折り込む。	平成29年度における具体的な目標 <ul style="list-style-type: none"> ・広報アンケート結果を踏まえた紙面の見直し。 ・紙媒体以外の発信方法のさらなる検討。

CHECK(評価)

ACT(改善)

平成28年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
6	01	01	01	ウェブサイト運営事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	04	03	ウェブサイト運営事業

実施計画整理番号	
601010102	
総合戦略整理番号	32303

PLAN (計画)	事務事業の概要	
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
	茂原市の情報を必要としている方へ、ウェブサイトによる行政情報の提供を行うことを目的とする。また、サイトを訪れた誰もが使いやすく、アクセスしやすい状態にする。	茂原市の公式ウェブサイトの運営を行う。各所属にホームページ制作委員を設け、それぞれの所属における業務案内や情報発信を依頼することで、最新の情報を提供できるようにしている。また、SNSなど新しい情報発信手段を利用し、発信力の強化に努める。
	平成28年度の具体的な目標	平成28年度スケジュール
・新システム(CMS)を活用した情報提供の量と質の向上。	ウェブサイトにより、随時、最新の情報を迅速に提供していく。また、SNSなど新しい情報発信手段を利用し、発信力の強化に努める。	

区分	単位	H26年度			H27年度			H28年度			
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	
事業費	千円	11,085	11,085	10,036	2,363	1,944	1,944	2,441	1,944	1,944	
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	1,680	1,680	1,920	1,680	1,680	1,320	1,680	1,680	1,450
	一般財源	千円	9,405	9,405	8,116	683	264	624	761	264	494

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	ウェブサイトの運営管理	2,363	1,944	1,944	アクセス数1,637,521件/年(136,460件/月)
②	ウェブサイトのリニューアル	0	0	0	
③	茂原安全安心メールの配信	78	0	0	総務課防災対策室、生活課にて配信
④		0	0	0	
⑤		0	0	0	
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		2,441	1,944	1,944	

平成28年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)
ウェブサイトによる行政情報の発信を行い、市民サービスの向上を図った。アクセス数1,637,521件/年(136,460件/月)

DO (実施)

平成28年度 事務事業評価シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
6	01	01	01	ウェブサイト運営事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	04	03	ウェブサイト運営事業

整理番号	
601010102	
総合戦略 整理番号	32303

CHECK (評価)	28年度活動指標(アウトプット)の達成状況		28年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	・ウェブサイト公開ページ数: 1143ページ ・更新頻度: 1759ページ/年(146ページ/月)		ウェブサイトアクセス数1,637,521件/年(136,460件/月)			
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由	
	A: 妥当である	行政情報を市民に迅速かつ的確に発信することは行政の責務である。	A: 有効である	最新の情報を迅速に提供することができた。	A: 効率的である	全面リニューアルしたばかりのため、当分の間はコストの増加・増大の要因はない。
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由	
	A: 実現している	広報・ウェブサイトでの公表。	A: 実現している	お問い合わせフォームの設置。	C: 実現の余地がない	
	所管による評価とその理由、課題・問題点					
	A: 十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	ウェブサイトでの情報発信に加え、Facebookなど新しい情報発信手段を利用し発信力の強化に努めた。インターネット等情報端末を活用できない方もいるので、広報などできめ細かく情報提供を行う必要がある。				
	企画政策課での評価とその理由					
	A: 十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	ウェブサイトアクセス数が昨年度より、若干減少(昨年度比△83,764件 △4.9%)しているものの、SNS等の新たな発信手段を利用し、発信力の強化を図っていることから、一定の成果が認められる。				
政策調整会議での評価とその理由						
庁議における方針						

ACT (改善)	29年度活動指標(アウトプット)の設定		29年度成果指標(アウトカム)の設定	
	・ウェブサイト公開ページ数 ・更新頻度		ウェブサイトアクセス件数	
29年度における事務事業スケジュール		平成29年度における具体的な目標		
ウェブサイトにより、随時、最新の情報を迅速に提供していく。また、SNSなど新しい情報発信手段を利用し、発信力の強化に努める。		ウェブサイト制作研修会を開催し、情報発信力の向上に努める。		

平成28年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
6	01	02	01	広聴事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	04	02	広聴事業

実施計画整理番号	
601020101	
総合戦略 整理番号	-

PLAN (計画)	事務事業の概要	
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
	市民から幅広く意見・提言を聴取し、市政に反映させることを目的とする。	「市長への手紙」の運用、市長と話し合う会・ふれあいミーティングを開催する。また、参加者の減少に対応するため、開催内容の検討を随時行っていく。
	平成28年度の具体的な目標	平成28年度スケジュール
・参加者数の増加。	・「市長への手紙」:各公共施設に備え付けの用紙、市公式ウェブサイト、電子メールから随時受付。 ・「市長と話し合う会」:11月13日(日)、市役所市民室で開催 ・「市民ふれあいミーティング」:3月22日(水)	

区分	単位	H26年度			H27年度			H28年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	132	132	93	132	125	93	132	126	59
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	132	132	93	132	125	93	132	126

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	市長への手紙の活用	10	11	0	110件(うち電子メール55件)。今後も幅広く意見・提言を聴取していく。
②	市長と話し合う会の開催	115	115	59	1回開催。50人が参加、質問者数12人。開催内容や開催回数を検討していく。
③	ふれあいミーティングの実施	0	0	0	1回開催。19人が参加、テーマ「茂原市を盛り上げるために」。今後も団体・グループを対象とし、継続していく。
④		0	0	0	
⑤		0	0	0	
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		125	126	59	

平成28年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)
・「市長への手紙」:110件(うち電子メール55件)。回答数は51件。 ・「市長と話し合う会」:11月13日(日)市民室で開催。50人が参加、質問者数12人。 ・「ふれあいミーティング」:3月22日(水)開催。19人が参加。

DO
(実施)

平成28年度 事務事業評価シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
6	01	02	01	広聴事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	04	02	広聴事業

整理番号	
601020101	
総合戦略 整理番号	-

CHECK (評価)	28年度活動指標(アウトプット)の達成状況		28年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	<ul style="list-style-type: none"> ・「市長への手紙」: 用紙設置枚数300枚 ・「市長と話し合う会」: 開催回数1回 ・「市民ふれあいミーティング」: 開催回数1回 		<ul style="list-style-type: none"> ・「市長への手紙」: 意見・提言数110件、回答数51件 ・「市長と話し合う会」: 参加者数50人、質問者数12人 ・「市民ふれあいミーティング」: 参加者数19人 			
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由	
	A: 妥当である 市民から幅広く意見・提言を聴取し、市政に反映させる必要がある。		A: 有効である さまざまな方法で市民からの意見・提言を聴取する機会を設けた。		A: 効率的である 将来的にもコストの増加・増大の要因はなく、継続することができる。	
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由	
	A: 実現している 広報・ウェブサイトでの公表		A: 実現している 市長への手紙の運用、市長と話し合う会・市民ふれあいミーティングの実施。		C: 実現の余地がない	
	所管による評価とその理由、課題・問題点					
	A: 十分な成果を挙げた(達成度8割以上)		「市長への手紙」の運用、「市長と話し合う会」や「ふれあいミーティング」を開催するなどさまざまな方法で、市民から幅広く意見・提言を聴取する機会を設け、市政に反映することができた。参加者が固定化されつつあり、新規での参加者が減ってきているため、開催方法等を検討する必要がある。			
	企画政策課での評価とその理由					
	A: 十分な成果を挙げた(達成度8割以上)		広く意見を聴く機会を設けており、一定の成果が認められる。今後も意見を聴取する機会や、聴取する方法を検討し広く意見を市政に反映させることに努めるものとする。 補足: 市長への手紙については匿名や回答を希望しないものがあるため「意見・提言数110件、回答数51件」となっている			
政策調整会議での評価とその理由						
庁議における方針						

ACT (改善)	29年度活動指標(アウトプット)の設定		29年度成果指標(アウトカム)の設定	
	<ul style="list-style-type: none"> ・「市長への手紙」: 用紙設置枚数 ・「市長と話し合う会」: 開催回数 ・「市民ふれあいミーティング」: 開催回数 		<ul style="list-style-type: none"> ・「市長への手紙」: 意見・提言数、回答数 ・「市長と話し合う会」: 参加者数、質問者数 ・「市民ふれあいミーティング」: 参加者数 	
29年度における事務事業スケジュール		平成29年度における具体的な目標		
<ul style="list-style-type: none"> ・「市長への手紙」: 各公共施設に備え付けの用紙、市公式ウェブサイト、電子メールから随時受付。 ・「市長と話し合う会」: 11月19日(日)、市役所市民室で開催 ・「市民ふれあいミーティング」: 随時受付 		・市長と話し合う会の開催方法を見直し、新規参加者の確保、会議の活性化を図る。		

平成28年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
6	01	02	02	市民相談事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	15	01	市民相談事業

実施計画整理番号	
601020201	
総合戦略整理番号	-

事務事業の概要	
事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
PLAN (計画) 市民が持つ悩みや心配ごと等の解決のため、市民相談員や弁護士あるいは人権擁護委員・行政相談委員により対応を図る。	市民相談 無料法律相談 人権・行政相談 交通事故相談 結婚相談
平成28年度の具体的な目標	平成28年度スケジュール
市民が持つ悩みや心配ごとなどを、各種相談業務を気軽に相談していただく。	・平日執務時間内 市民相談・結婚相談 ・毎月第2木・第4火曜日 無料法律相談 ・毎月第2火・第4木曜日 人権・行政相談 ・5～3月 第4金曜日 交通事故相談 ・10・12月 出合いの広場

区分	単位	H26年度			H27年度			H28年度			
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	
事業費		千円	1,121	1,121	1,118	1,121	1,120	1,119	1,121	1,120	1,118
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	1,121	1,121	1,118	1,121	1,120	1,119	1,121	1,120	1,118

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	法律相談	784	784	783	弁護士相談により適切に対応できた。多様化する相談における専門的解答のニーズに応えるために今後も継続が必要。 人権擁護・行政相談の委員が専門的見地から解決に向けた方向性を見出している。住民に更なる周知を図り、今後も継続する。 市民に専門的な相談を受ける機会が与えられた。市民に必要な相談のため、今後も県へ継続を要望する。 結婚を希望する方々に出会いの機会を提供した。結婚支援策については今後も検討していく。
②	人権・行政相談	327	328	328	
③	交通事故相談	0	2	1	
④	結婚相談【出合いの広場の開催】	0	6	6	
⑤		0	0	0	
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		1,111	1,120	1,118	

平成28年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)

- ・無料法律相談は、日常生活にわたる法律問題について弁護士が対応(月2回予約制)
- ・人権相談は、いじめや差別、いやがらせなどの人権に関する問題について人権擁護委員が対応(月2回)
- ・行政相談は、官公庁が行う業務の苦情、要望、問合せなどについて行政相談委員が対応(月2回)
- ・交通事故相談は、損害賠償の請求の仕方や算定額などについて、県交通事故相談所の専門の相談員が対応(月1回)
- ・出合いの広場は、結婚を希望する男女の出会いのきっかけ作りを目的として開催(年2回)

DO (実施)

平成28年度 事務事業評価シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
6	01	02	02	市民相談事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	15	01	市民相談事業

整理番号	
601020201	
総合戦略 整理番号	-

28年度活動指標(アウトプット)の達成状況		28年度成果指標(アウトカム)の達成状況		
複雑・多様化する市民の相談に、各種相談で迅速かつ適切な助言を行うことができた。		H28相談受付件数 ・市民相談 805件 ・人権相談 6件 ・交通事故相談 27件 ・行政相談 0件 ・法律相談 142件 ・結婚相談 22件		
妥当性の評価とその理由 A:妥当である 市が実施することで市民は安心して相談できる。		有効性の評価とその理由 A:有効である 適切な助言を行い問題解決に繋げている。		効率性の評価とその理由 A:効率的である 各種相談業務は、専門的な相談員が配備されている。
「情報の共有」の状況とその理由 A:実現している 広報、ホームページ等で相談業務を紹介している。		「参加」の状況とその理由 A:実現している 市民ニーズを把握しながら実施している。		「協働」の状況とその理由 C:実現の余地がない 相談業務であり専門家を活用している。
所管による評価とその理由、課題・問題点 A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上) 多種多様化する市民の相談に専門の相談員や弁護士を活用し、細やかで的確な相談事業を実施しており相談者からも高い評価を得ている。年々増加する市民相談に対応するため窓口業務の充実に努める。また、結婚相談事業は登録制の結婚相談や婚活イベントだけでは成婚に繋がらないため、多様な出会いの機会づくりに加え誰もが安心して気軽に相談することができるようにするため、結婚相談員を配置するなど相談窓口の充実に努める必要がある。				
企画政策課での評価とその理由 A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上) 各種相談業務に対して、専門官の配置等、きめ細やかに対応しており、十分な成果があったものと認められる。今後も様々な相談に対応できるよう、努めるものとする。				
政策調整会議での評価とその理由 (Blank)				
庁議における方針 (Blank)				

A C T (改 善)	29年度活動指標(アウトプット)の設定		29年度成果指標(アウトカム)の設定	
	・市民相談・結婚相談 平日執務時間内 ・無料法律相談 毎月第2木・第4火曜日 ・人権・行政相談 毎月第2火・第4木曜日 ・交通事故相談 5～3月第4金曜日 ・出会いの広場 9・12月		・市民が抱える様々な問題の解決に向け、各種相談業務を適切に機能させる。	
29年度における事務事業スケジュール		平成29年度における具体的な目標		
・平日執務時間内 市民相談・結婚相談 ・毎月第2木・第4火曜日 無料法律相談 ・毎月第2火・第4木曜日 人権・行政相談 ・5～3月第4金曜日 交通事故相談 ・9・12月 出会いの広場		・市民が持つ悩みや心配ごとなどを、各種相談に気軽に相談していただく。		

平成28年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
6	02	01	02	情報化推進事業(安全安心地図情報システム)

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	01	03	情報化推進事業(安全安心地図情報システム)

実施計画整理番号	
602010201	
総合戦略整理番号	12202

PLAN (計画)	事務事業の概要	
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
	担当課ごとに整備されている地図情報を一元管理することで庁内における有効利用を促進する。 市が保有する地図情報を公開することで、平時及び災害時に安心安全に関する地図情報の共有を図る。	既存の地図情報を一元化し、紙で管理している地図情報の電子化に積極的に取り組む。 また、公開できる地図情報を増やし、双方向のやり取りが可能なシステムを導入する。
	平成28年度の具体的な目標	平成28年度スケジュール
平成28年度末までに、各課が所有する地図データ及び地図化されていない情報を一元化し、システムの構築業務を完了させる。		

区分	単位	H26年度			H27年度			H28年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費								0	47,415	42,044
財源内訳	国補助							0	0	0
	県補助							0	0	0
	市債							0	0	0
	その他							0	0	0
	一般財源							0	47,415	42,044

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	安心安全地図情報共有システム	0	47,415	42,044	構築業務が完了し、統合型GIS、公開型GIS、双方向システム及びオープンデータサイトの運用を図る。
②		0	0	0	
③		0	0	0	
④		0	0	0	
⑤		0	0	0	
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		0	47,415	42,044	

平成28年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)
<ul style="list-style-type: none"> ・安心安全地図情報共有システムの構築 ・ICTマネージャー派遣事業(総務省)を利用し、データ活用について研修等を行った。

DO(実施)

平成28年度 事務事業評価シート

基本計画					予算科目					整理番号	
章	節	項	細	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	602010201	
6	02	01	02	情報化推進事業(安全安心地図情報システム)	2	01	01	03	情報化推進事業(安全安心地図情報システム)	総合戦略 整理番号	12202

CHECK(評価)	28年度活動指標(アウトプット)の達成状況					28年度成果指標(アウトカム)の達成状況									
	妥当性の評価とその理由					有効性の評価とその理由					効率性の評価とその理由				
	A:妥当である		・紙媒体などで使用している地図情報などのデジタル化し地図情報システムに搭載、及び統合できる他の地図情報システムを一元化した。			A:有効である		・全庁的かつ横断的に使用できる環境の創出			A:効率的である		・全庁的かつ横断的に使用できる環境の創出		
	「情報の共有」の状況とその理由					「参加」の状況とその理由					「協働」の状況とその理由				
	B:実現に向けて取り組んでいる		・操作研修などを実施して職員が利用できるスキルを習得し、また、ICTマネージャー制度を利用し意識の向上に取り組んだ。			B:実現に向けて取り組んでいる		・操作研修会の実施により利用者を増やしている。			B:実現に向けて取り組んでいる		・マッピングパーティーなど市民参加型ワークショップを開催 ・市民双方向システムについての運用検討		
	所管による評価とその理由、課題・問題点														
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)		・全庁的に使える環境の創出と、ICT地域マネージャーによる情報共有への意識向上の機会を得られたことが評価に値する。また、市民に対しては、マッピングパーティーなど市民参加型ワークショップを開催することで、ICTを利用したマップ作り体験から街の魅力を発見するなど、新たな気づきの場を演出することができた。												
	企画政策課での評価とその理由														
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)		各課の所有するデータ情報を統合し、地図情報システムを一元化したことにより、当初の目的は達成していると認められる。今後も職員に研修等による意識の向上を図り、公開型GIS及び市民双方向システムの利用者数の増加に努めるものとする。												
	政策調整会議での評価とその理由														
庁議における方針															

ACT(改善)	29年度活動指標(アウトプット)の設定					29年度成果指標(アウトカム)の設定				
	<ul style="list-style-type: none"> ・統合型GIS(庁内用)の運用開始 ・公開型GIS(わが街ガイド)の運用開始 ・双方向システムの運用開始 ・オープンデータサイトの運用開始 					<ul style="list-style-type: none"> ・利用者・閲覧数及び掲載データ数(地図・オープンデータ)の増加 				
29年度における事務事業スケジュール					平成29年度における具体的な目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・統合型GIS(庁内用)の運用開始(4月) ・公開型GIS(わが街ガイド)の運用開始(4月～6月) ・双方向システムの運用開始(年内) ・オープンデータサイトの運用開始(年内) 					<ul style="list-style-type: none"> ・各事務事業の運用開始 					

平成28年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
6	03	01	01	コミュニティ活動支援事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	13	03	コミュニティ活動支援事業

実施計画整理番号	
603010101	
総合戦略整理番号	22201

事務事業の概要	
事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
自治会等のコミュニティ団体をより良いまちづくりのために行政と協調連携するようにする。	各種支援を行い、地域のコミュニティ活動の活性化を図る。
平成28年度の具体的な目標	平成28年度スケジュール
各種支援を行い、地域のコミュニティ活動の活性化を図る。	7月 長生郡市連合自治会連絡会負担金 7月 茂原市自治会長連合会活動費補助金交付 9月 自治会長委託料交付 随時 集会所整備補助金交付 通年 市民活動支援のための窓口対応

区分	単位	H26年度			H27年度			H28年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	15,663	15,656	15,179	18,977	18,219	17,631	16,978	18,949	18,457
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	15,663	15,656	15,179	18,977	18,219	17,631	16,978	18,949

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	コミュニティ団体の活動支援	15,012	14,877	14,447	補助金の交付等をはじめとするさまざまな支援に努め、活動の活性化を促すことができた。今後も継続する。
②	コミュニティ備品の整備	366	42	10	コミュニティ備品(投光器・大)を修繕した。今後も継続し、保有備品の適正な維持管理に努める。
③	集会所の整備	1,600	1,523	1,497	補助金の交付により、6か所の集会所が修繕された。今後も継続し、自治会等の活動拠点の整備に努める。
④	市民活動支援センターの設置準備	0	7	3	先進自治体の市民活動支援センターを視察した。今後も継続し、設置準備を進める。
⑤	コミュニティ助成	0	2,500	2,500	自治総合センターのコミュニティ助成事業を活用し、1自治会において備品が整備された。今後も各自治会への周知を図る。
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		16,978	18,949	18,457	

平成28年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)

- ・団体への補助等(茂原市自治会長連合会への活動費補助金交付、長生郡市連合自治会連絡会への負担金)
- ・文書配布等の事務委託(自治会長委託料の交付)
- ・コミュニティ備品の整備(投光器・大の修繕)
- ・集会所整備補助(1自治会の集会所新築及び5自治会の集会所修繕に対する補助金交付)

平成28年度 事務事業評価シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
6	03	01	01	コミュニティ活動支援事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	13	03	コミュニティ活動支援事業

整理番号	
603010101	
総合戦略 整理番号	22201

CHECK (評価)	28年度活動指標(アウトプット)の達成状況		28年度成果指標(アウトカム)の達成状況	
	補助金の交付額 5,581,050円(うち自治会長連合会補助金1,584,050円、集会所整備補助金1,497,000円、コミュニティ助成事業補助金2,500,000円) 補助金の交付件数 8件 (自治会長連合会1件、集会所整備補助金6件、コミュニティ助成事業補助金1件)		・コミュニティ活動の促進(参加者数) 自治会長連合会定期総会出席人数221名(うち委任状109名) ・コミュニティ備品の数、利用状況 15種類472点 ・延べ貸出団体数678団体 ・集会所の整備件数 新築1件・修繕5件	
	妥当性の評価とその理由 A:妥当である コミュニティ活動の充実については、市が関与すべき事業である。		有効性の評価とその理由 A:有効である より良いまちづくりのためにコミュニティ活動の育成と拠点整備等の支援は必要である。	
	効率性の評価とその理由 A:効率的である 継続して支援していく必要がある。			
	「情報の共有」の状況とその理由 A:実現している 自治会長連合会役員や各単位自治会長と情報を共有しながら、施策を推進している。		「参加」の状況とその理由 A:実現している 自治会長連合会役員や各単位自治会長の参加を得ながら、施策を推進している。	
	「協働」の状況とその理由 A:実現している 自治会長連合会役員や各単位自治会長と目的を共有し、適切に役割を分担している。			
	所管による評価とその理由、課題・問題点 A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上) 人々が地域で生活を営む上で、日常生活をより豊かで快適に安心して暮らしていくためには、コミュニティ活動の充実が欠かせないものであることから、自治会長連合会と連携しながら、各種支援等を行い、活性化を図った。今後も、コミュニティへの理解を深め、より多くの人々が積極的に参加できるよう、コミュニティ活動を支援していく必要がある。			
	企画政策課での評価とその理由 A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上) 補助金等の各種支援事業により、コミュニティ活動の活性化が図られており、成果があったものと認められる。自治会加入率の低下等の現状に鑑み、市民活動支援窓口の充実を図りつつ、地域のコミュニティ活動の活性化を推進するものとする。			
	政策調整会議での評価とその理由 (This cell is currently blank in the image)			
	庁議における方針 (This cell is currently blank in the image)			

ACT (改善)	29年度活動指標(アウトプット)の設定		29年度成果指標(アウトカム)の設定	
	補助金の交付額 補助金の交付件数		・コミュニティ活動の促進(参加者数) 自治会長連合会定期総会出席人数 ・コミュニティ備品の数、利用状況 ・集会所の整備件数	
29年度における事務事業スケジュール		平成29年度における具体的な目標		
7月	長生郡市連合自治会連絡会負担金	・自治会長連合会学習会 3回		
7月	茂原市自治会長連合会活動費補助金交付	・自治会長連合会視察研修 4回		
9月	自治会長委託料交付	・自治会長連合会講演会 1回		
随時	集会所整備補助金交付	・集会所の整備件数 5件		

平成28年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
6	04	01	01	男女共同参画社会づくり推進事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	09	03	男女共同参画社会づくり推進事業

実施計画整理番号	
604010101	
総合戦略整理番号	-

事務事業の概要	
事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
男女がお互いを尊重しつつ責任を分かち合い、性別に関わりなく、その個性と能力を十分発揮することができる男女共同参画社会づくりを推進する。	・男女共同参画をテーマとした講演会やフォーラム等を行い、市民意識の醸成を図る ・適正な事業執行のため、推進協議会による事業評価を実施する ・推進委員会及び推進協議会により事業評価を実施する
平成28年度の具体的な目標	平成28年度スケジュール
男女共同参画をテーマとした講演会やフォーラム等を行い、市民意識の醸成を図る 適正な事業執行のため、推進協議会による事業評価を実施する 推進委員会及び推進協議会による事業評価及び提言書によりさらなる男女共同さんかくの推進を図る	・女性活躍推進を含めた男女共同参画啓発講演会を企画・実施する。 ・男女共同参画に関する市の取り組みを市民に適宜情報提供し、理解を深める。 ・各関係機関(県、商工会議所、市内企業・団体、市民)と連携し、各分野における男女共同参画推進に努める。 ・計画事業評価、提言書の作成及び第3次計画事業の推進に努める。

区分	単位	H26年度			H27年度			H28年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	83	883	63	673	1,466	1,371	83	736	78
財源内訳	国補助	千円	0	640	0	0	0	0	560	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	83	243	63	673	1,466	1,371	83	176

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	講演会等による啓発活動	51	70	51	ハートフルフェスタ(男女共同参画大会)講演会及び男女共同に関して自由に意見交換できる場としてコスモスサロンを開催し男女共同参画に関する意識啓発を図った。今後も継続して実施する。
②	推進委員会及び推進協議会による事業評価	32	35	27	男女共同参画計画(3次)の推進を図るため、事業について評価を実施し提言書を市に提出した。今後も継続して実施する。
③		0	0	0	
④		0	0	0	
⑤		0	0	0	
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		83	736	78	

平成28年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)

- ・第6回ハートフルフェスタを開催し、働き方の見直しについて意識啓発を図った。託児の実施、仕事をテーマとしたことにより、若年層が増えた。
- ・第7回ハートフルフェスタを開催し、家庭内での男女共同参画について改めて考える機会を設けた。
- ・コスモスサロン講演会として成年後見制度について考えてもらう機会を提供し多数の参加者を得た。
- ・計画の推進については、推進協議会により19事業について外部評価を行い、事業評価報告書としてまとめ、市長に提出・担当課に結果を報告した。

平成28年度 事務事業評価シート

基本計画					予算科目				整理番号		
章	節	項	細	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	604010101	
6	04	01	01	男女共同参画社会づくり推進事業	2	01	09	03	男女共同参画社会づくり推進事業	総合戦略 整理番号	-

28年度活動指標(アウトプット)の達成状況	28年度成果指標(アウトカム)の達成状況
<ul style="list-style-type: none"> 講演会実施回数 2回(男女共同参画大会、コスモスサロン講演会) 情報提供の回数 3回 男女共同参画計画の推進、事業評価の実施 男女共同参画推進委員会(庁内)及び男女共同参画推進協議会(第三者)で事業評価を実施 	<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画について正しく理解する市民を増やす(講演会等参加延べ人数 310人) 計画事業評価Aの事業 現在評価中

妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由	
A:妥当である	男女共同参画は若年層を中心に進んでいるが、社会全体としては不十分などころがあり、更なる推進に向け市が率先して取り組む必要がある。	B:やや有効である	一定の理解は深まっているものの、取り組みが遅れている分野について、より幅広い周知が必要。	C:あまり効率的ではない	男女共同参画の推進には意識改革が必要であり、すぐに結果がでるものではなく、根気強く取り組むことが必要。

「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由	
A:実現している	市ホームページ、自治会回覧、広報等で情報提供している。	A:実現している	講演会に市民意見を反映できるような市民のボランティアが参加。計画の事業評価に協力する協議会の委員には市民が参加している。	A:実現している	講演会実施に当たっては市民が企画・運営を担当。計画の事業評価にあたり、協議会の意見を取り入れ、より市民目線の評価及び提言に努めた。

所管による評価とその理由、課題・問題点	
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	公募の市民で構成されるハートフルフェスタ実行委員会の企画・運営による、男女共同参画の正しい理解と啓発のための「ハートフルフェスタ(男女共同参画大会)」及び男女共同に関する意見交換の場としての「コスモスサロン」を開催し、市民と行政の協働による効果的な取り組みとなった。今後も引き続きあらゆる分野における男女共同参画の正しい理解と意識啓発のため、市・市民及び関係団体が連携・協力して啓発・推進に努めていく。

企画政策課での評価とその理由	
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	3次計画事業については、関係団体との連携を密とするとともに、引き続き進行管理に努めるものとする。

政策調整会議での評価とその理由	

庁議における方針	

29年度活動指標(アウトプット)の設定	29年度成果指標(アウトカム)の設定
<ul style="list-style-type: none"> 講演会実施回数 1回以上 情報提供の回数 年1回以上 男女共同参画計画の事業評価の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画について正しく理解する市民を増やす 計画事業評価Aの事業を増やす

29年度における事務事業スケジュール	平成29年度における具体的な目標
<ul style="list-style-type: none"> ハートフルフェスタ(男女共同参画大会)講演会を企画・実施する。 男女共同参画に関する市の取り組みを市民に適宜情報提供し、理解を深める。 各関係機関(県、商工会議所、市内企業・団体、市民)と連携し、各分野における男女共同参画推進に努める。 あらゆる分野における男女共同参画を積極的に推進するため、計画事業評価及び第3次計画事業の推進に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ハートフルフェスタ(男女共同参画大会)講演会へ100名以上の参加を目指す。 市と市民との協働により、男女共同参画に関する正しい理解と啓発に努める。

CHECK (評価)

ACT (改善)

平成28年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
6	05	03	01	地方公会計制度整備事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	06	01	財産管理事務運営費

実施計画整理番号	
605030101	
総合戦略整理番号	-

事務事業の概要	
事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
①財務書類(総務省改訂モデル)に計上している暫定的な資産計上額を、個別に資産を評価し精査した額に改める②決算統計データから作成している財務書類(総務省改訂モデル)を、財務会計の執行データから出納閉鎖後に一括して複式仕訳を行い作成する財務書類(基準モデル)に改め、さらに連結財務書類を作成する。③事業別・施設別コストなど各種分析ができるようにし、財務マネジメントに活用するとともに、職員のコスト意識を醸成する。また、財務状況を分かりやすく公表する。	会計士の支援を受けながら、①公有財産管理システムを導入するとともに、資産を個別に評価し固定資産台帳を作成する。②公会計システムを導入し、財務書類(基準モデル)を作成し、さらに連結の財務書類を作成する。③分析・活用資料を作成するとともに、職員向けに研修を実施する。また、財務状況の分かりやすい公表に努める。
平成28年度の具体的な目標	平成28年度スケジュール
統一的な基準による財務書類等を作成するために必要となる固定資産台帳の整備を行う。	年間を通して平成28年度決算における財務書類の作成準備を行う。 8月までに 固定資産台帳27年度分更新データの作成 9月以降 28年度開始貸借対照表の作成 10月以降 財務書類作成等マニュアルの作成 1月以降 DSK公会計システムの導入

区分	単位	H26年度			H27年度			H28年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	0	0	0	4,515	4,515	4,471	3,843	8,683	8,683
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	0	0	0	4,515	4,515	4,471	3,843	8,683

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	公会計システムの導入・運用	1,008	691	691	統一的な基準に対応した公会計システムを導入した。
②	固定資産台帳の作成	0	7,992	7,992	固定資産台帳の異動状況調査を実施し、内容を平成27年度末時点のものへと更新した。
③	財務書類(基準モデル)の作成	2,310	0	0	
④	分析・活用、研修の実施及び公表	525	0	0	
⑤		0	0	0	
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		3,843	8,683	8,683	

平成28年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)

- ・平成27年度増減データの固定資産台帳への反映(平成28年9月)
- ・資産・負債に関する調査(平成28年9~11月)
- ・財務書類作成マニュアル、固定資産台帳管理・更新マニュアルの作成(平成29年3月)
- ・公会計システムの導入(平成29年3月)

平成28年度 事務事業評価シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
6	05	03	01	地方公会計制度整備事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	06	01	財産管理事務運営費

整理番号	
605030101	
総合戦略 整理番号	-

28年度活動指標(アウトプット)の達成状況	28年度成果指標(アウトカム)の達成状況
会計事務所との打合せによる課題の整理 28年6～8月 固定資産台帳更新のための調査の実施 28年9～11月 資産・負債に関する調査の実施 29年2～3月 各種マニュアルの作成 29年3月 公会計システムの導入、資産データの取込み	固定資産台帳のデータを平成27年度末時点のものへと更新した。 また、固定資産台帳更新や財務書類作成に必要なマニュアルを作成した。さらに、公会計システムを導入し、今後の財務書類作成に向けて、準備した。

妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由	
A:妥当である	総務省の要請に基づく、統一的な基準による財務書類を作成する事業であるため	A:有効である	財務書類作成に必要なマニュアルを整備し、公会計システムを導入したため	A:効率的である	会計事務所と連携し、効率的に作業を進めることができた

「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由	
B:実現に向けて取り組んでいる	29年度に財務書類を完成させ、市ホームページ等での公開を予定している	C:実現の余地がない		C:実現の余地がない	

所管による評価とその理由、課題・問題点	
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	年度当初の目標である27年度末時点の固定資産台帳を整備することができた。 また、業務を効率的に遂行するため、各種マニュアルを作成し、公会計システムを導入した。 今後の課題として、連結財務書類を作成するために、関係一部事務組合との連携を密にし、業務に取り組む必要がある。

企画政策課での評価とその理由	
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	平成27年度末時点の固定資産台帳を更新、整備することができたことにより当初の目標は達成できたと認められる。

政策調整会議での評価とその理由	

庁議における方針	

29年度活動指標(アウトプット)の設定	29年度成果指標(アウトカム)の設定
A C T (改 善)	<ul style="list-style-type: none"> ・会計事務所との打合せによる各種課題の検討 ・固定資産台帳更新のための異動状況調査の実施 ・決算整理仕訳の実施 ・特別会計を加えた全体財務書類、連結対象団体を加えた連結財務書類の作成
	<ul style="list-style-type: none"> ・会計事務所の支援を受けながら、課題が整理されているか ・固定資産台帳が平成28年度末時点の内容に更新されているか ・平成28年度決算に係る財務書類が完成しているか

29年度における事務事業スケジュール	平成29年度における具体的な目標
A C T (改 善)	
29年6～8月 平成28年度中の固定資産異動状況調査 29年10～11月 決算整理仕訳 29年12月 全体財務書類の作成 30年1～2月 連結財務書類の作成	平成30年3月までに平成28年度決算に係る財務書類を作成する。

平成28年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
6	05	04	01	本納公民館・本納支所複合施設建設事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
9	05	02	10	本納公民館・本納支所複合施設建設事業

実施計画整理番号	
605040101	
総合戦略整理番号	-

PLAN (計画)	事務事業の概要	
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
	老朽化が著しい本納公民館と本納支所を複合化した施設を新たに建設する。その後、本納公民館を解体し、跡地を駐車場として整備する。	設計、工事、工事監理にかかる契約事務を行う。また、起債事務を行う。
	平成28年度の具体的な目標	平成28年度スケジュール
<ul style="list-style-type: none"> 設計業務委託にかかる入札及び契約 工事監理にかかる契約 新築工事にかかる入札及び契約 	H28.4 設計業務委託にかかる指名競争入札実施(管財課) H28.4 設計業務委託契約 H28.11 本体工事の設計終了 H29.1 新築工事にかかる一般競争入札実施(管財課) H29.1 新築工事仮契約 茂原市議会議決の日の翌日 新築工事本契約	

区分	単位	H26年度			H27年度			H28年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円							0	47,952	43,632
財源内訳	国補助	千円						0	0	0
	県補助	千円						0	0	0
	市債	千円						0	28,800	25,500
	その他	千円						0	0	0
	一般財源	千円						0	19,152	18,132

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	本納公民館・本納支所複合施設の建設	0	47,952	43,632	基本設計及び実施設計と、新築工事にかかる契約完了。29年度に本体工事、30年度に公民館の解体と駐車場整備を行う。
②		0	0	0	
③		0	0	0	
④		0	0	0	
⑤		0	0	0	
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		0	47,952	43,632	

平成28年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)	
H28.4.13	設計業務委託にかかる指名競争入札(株式会社ワールド建築研究所 42,120千円)
H28.4.14	設計業務委託契約
H28.11.18	本体工事の設計終了
H29.1.25	新築工事にかかる一般競争入札(関東建設株式会社 658,800千円)
H29.1.30	新築工事仮契約
H29.3.18	(茂原市議会議決の日の翌日) 新築工事本契約

DO (実施)

平成28年度 事務事業評価シート

基本計画					予算科目					整理番号	
章	節	項	細	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	605040101	
6	05	04	01	本納公民館・本納支所複合施設建設事業	9	05	02	10	本納公民館・本納支所複合施設建設事業	総合戦略整理番号	-

CHECK (評価)	28年度活動指標(アウトプット)の達成状況				28年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	H28.4.13 設計業務委託にかかる指名競争入札 H28.4.14 設計業務委託契約 H28.11.18 本体工事の設計終了 H29.1.25 新築工事にかかる一般競争入札 H29.1.30 新築工事仮契約 H29.3.18(茂原市議会議決の日の翌日) 新築工事本契約				基本設計及び実施設計と、新築工事にかかる契約を完了した。			
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由			
	A:妥当である	支所はプレハブでの活動を余儀なくされており、また公民館も老朽化が顕著であることから、新たな施設の建設は急務であり、妥当である。	A:有効である	安全・安心且つ利便性に優れた施設の提供により、市民の教育活動を一層促進することができるため、有効である。	A:効率的である	設計、工事等は入札によっており、効率的である。		
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由			
	A:実現している	工事契約は、契約にあたり議会の議決を得ている。	A:実現している	複合施設建設について市民要望の聞き取りを行っている。	C:実現の余地がない	設計、工事等には専門性が求められるため。		
	所管による評価とその理由、課題・問題点							
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	平成29年度に行われる建築工事に向けた準備を滞りなく行った。						
	企画政策課での評価とその理由							
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	当初の計画である設計業務について完了していることから、目的は達成されているものと認められる。今後は、平成29年度中の完成を目指すものとする。						
政策調整会議での評価とその理由								
庁議における方針								

ACT (改善)	29年度活動指標(アウトプット)の設定				29年度成果指標(アウトカム)の設定			
	総事業費 710,304千円 一般財源 99,404千円 市債 610,900千円				・新築工事完了 ・移転及び開館準備			
29年度における事務事業スケジュール				平成29年度における具体的な目標				
・起債(4～5月) ・工事検査(管財課) ・移転及び開館準備(3月)				・事業を円滑に執行するため、適切に事務を行なう。 ・H30.4の開館に向け、計画的に準備を進める。				

平成28年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
6	05	04	02	公共施設等総合管理計画策定事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	01	10	公共施設等総合管理計画策定事業

実施計画整理番号	
605040201	
総合戦略整理番号	-

PLAN (計画)	事務事業の概要	
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
	公共施設の老朽化の進行により、今後多額の維持管理・更新費用が見込まれることから、将来の施設のあり方を検討し、地域の実情にあった公共施設の最適化を図る。	公共施設の総合的かつ計画的な管理に関する基本方針を整理し、再配置に向けて公共施設等総合管理計画を策定する。
	平成28年度の具体的な目標	平成28年度スケジュール
公共施設の総合的かつ計画的な管理に関する基本方針を整理し、再配置に向けて公共施設等総合管理計画を策定する。	平成28年4月～ 公共施設のあり方検討委員会の開催及び、公募市民によるワークショップの開催 平成28年4月～ 公共施設等総合管理計画の策定及び推進に関する庁内委員会・庁内会議 平成28年7月 パブリックコメント実施 平成28年9月 市議会報告 平成28年10月 茂原市公共施設等総合管理計画の策定 平成28年12月 公共施設等総合管理計画 第1次アクションプラン策定	

区分	単位	H26年度			H27年度			H28年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	0	4,638	4,536	0	9,934	9,913	0	6,818	6,739
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	0	4,638	4,536	0	9,934	9,913	0	6,818

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	公共施設白書の作成	0	0	0	
②	公共施設の適正管理に関する基本方針のまとめ	0	0	0	
③	公共施設等総合管理計画の策定	9,860	6,818	6,739	公共施設等総合管理計画を策定。円滑に推進するため第1次アクションプランを策定、公表
④		0	0	0	
⑤		0	0	0	
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		9,860	6,818	6,739	

平成28年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)
<ul style="list-style-type: none"> 平成27年度から引き続き、有識者2名・先進市職員1名・公募市民9名からなる「公共施設のあり方検討委員会」・「ワークショップ」を行い、本市の公共施設等のあり方について検討し、10月に公共施設等総合管理計画を策定 本計画を円滑に推進するための「第1次アクションプラン」を12月に策定

DO (実施)

平成28年度 事務事業評価シート

基本計画					予算科目					整理番号	
章	節	項	細	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	605040201	
6	05	04	02	公共施設等総合管理計画策定事業	2	01	01	10	公共施設等総合管理計画策定事業	総合戦略 整理番号	-

CHECK (評価)	28年度活動指標(アウトプット)の達成状況					28年度成果指標(アウトカム)の達成状況				
	公共施設の老朽化の進行により、今後、多額の維持管理や更新費用が見込まれることから、将来の施設のあり方を考えるため、公共施設のあり方検討委員会、市民ワークショップにおいて検討し、パブリックコメント、検討会議、庁内委員会を経て公共施設等総合管理計画を策定した。					茂原市公共施設等総合管理計画及び第1次アクションプランを策定した。				
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由			効率性の評価とその理由				
	A:妥当である 公共施設等を総合かつ計画的に管理し、老朽化対策を推進するため、計画策定は必要である。		A:有効である 財政負担の平準化、公共施設等の最適な配置を実現させるため、茂原市公共施設等総合管理計画及び第1次アクションプランを策定した。			A:効率的である 計画策定に要する経費について、H26年度から3年間にわたり特別交付税措置(措置率1/2)がなされる。				
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由			「協働」の状況とその理由				
	A:実現している ホームページでの公表、広報を用いて情報の共有を図った。		A:実現している 公共施設のあり方検討委員会、公募市民によるワークショップ、パブリックコメントにより意見を取り入れた。			A:実現している 公共施設のあり方検討委員会、市民ワークショップ、パブリックコメントにより協働に努めた。				
所管による評価とその理由、課題・問題点										
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)		公共施設のあり方検討委員会、市民ワークショップ、パブリックコメント、庁内委員会、検討会議などの実施により、十分な情報提供と認識の共有を行い、公共施設等総合管理計画及び第1次アクションプランを策定した。								
企画政策課での評価とその理由										
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)		茂原市公共施設等総合管理計画及び第1次アクションプランを策定したことにより、当初の目的は達成している。今後は、アクションプランの推進を進めるとともに、庁内外に周知及び理解の醸成を図るものとする。								
政策調整会議での評価とその理由										
庁議における方針										

ACT (改善)	29年度活動指標(アウトプット)の設定					29年度成果指標(アウトカム)の設定				
	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設等総合管理計画及び第1次アクションプランの推進 ・公共施設等総合管理計画の策定及び推進に関する庁内委員会及び検討会議を必要に応じ開催 ・市民への積極的な情報公開 ・公共施設に関する住民説明会(主に跡地利用に関すること)への出席 					<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設の最適化による管理運営費の平準化を図る ・公共施設マネジメントに関する研修や勉強会による職員への啓発 ・情報発信による住民理解の醸成 				
29年度における事務事業スケジュール					平成29年度における具体的な目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・7月 公共施設カルテ改訂版公表 ・公共施設等総合管理計画の策定及び推進に関する庁内委員会及び検討会議を開催 ・第1次アクションプランの見直し、公表 ・職員対象とする公共施設マネジメント研修の実施 					<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設の最適化に向けた取り組みの促進 ・公共施設マネジメントに関する研修や勉強会による職員への啓発 ・情報発信による住民理解の醸成 					

平成28年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
6	05	05	03	茂原市総合戦略推進事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	09	07	茂原市総合戦略推進事業

実施計画整理番号	
605050302	
総合戦略整理番号	-

PLAN (計画)	事務事業の概要	
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
	各事業で設定した数値目標及びKPI(重要業績評価指数)についてPDCAサイクルに基づいて効果を検証した上で、必要に応じた見直しや新たな施策や事業の必要性など、より実効性を高め、目標の達成を目指していく。	各事業担当者からヒアリング等を行い、その結果を内部で検証する。その後、茂原市議会議員12名からなる「地方創生特別委員会」が再度検証を行い、その結果に基づいて、外部有識者で構成する検証組織が客観的な検証を行う。
	平成28年度の具体的な目標	平成28年度スケジュール
<ul style="list-style-type: none"> ・各事業の効果検証 ・茂原市まち・ひと・しごと創生総合戦略の見直し 	H28.8月 <ul style="list-style-type: none"> ・総合戦略策定会議幹事会 ・総合戦略策定会議 ・総合戦略推進会議 ・地方創生特別委員会 	

区分	単位	H26年度			H27年度			H28年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費		千円						0	71	29
財源内訳	国補助	千円						0	0	0
	県補助	千円						0	0	0
	市債	千円						0	0	0
	その他	千円						0	0	0
	一般財源	千円						0	71	29

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	茂原市総合戦略等の策定	0	71	29	推進委員の報償費及び食料費のため、H32年度まで継続 ・H28決算【7,200×4名】
②		0	0	0	
③		0	0	0	
④		0	0	0	
⑤		0	0	0	
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		0	71	29	

平成28年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)	
H28.8月 <ul style="list-style-type: none"> ・総合戦略策定会議幹事会での効果検証実施 ・総合戦略策定会議での効果検証実施 ・総合戦略推進会議での効果検証実施 ・地方創生特別委員会での効果検証実施 	効果検証を行い、総合戦略の見直しを行った

DO (実施)

平成28年度 事務事業評価シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
6	05	05	03	茂原市総合戦略推進事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	09	07	茂原市総合戦略推進事業

整理番号	
605050302	
総合戦略 整理番号	-

CHECK (評価)	28年度活動指標(アウトプット)の達成状況		28年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	「茂原市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定会議設置要領」及び「茂原市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議設置要領」に基づき、策定会議幹事会、策定会議、推進会議を開催した。また、地方創生特別委員会に出席した。		PDCAサイクルに基づいて各事業の効果検証を施し、施策・事業の見直しを行った。			
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由	
	A:妥当である	事業実施に伴う効果検証について、国へ報告する必要があるため、自治体を実施すべき事業である。	A:有効である	PDCAサイクルに基づいて各事業の効果検証を実施し、施策・事業の見直しを行うため、有効である。	A:効率的である	推進委員の報償費及び食料費のため、将来的に大幅な費用の増減はない。
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由	
	A:実現している	会議の公表及び市のwebを通してインターネット上で評価結果を公表している。	A:実現している	総合戦略推進会議の中で市民の意見等を聴取している。	A:実現している	外部有識者で構成する検証組織は、産業・行政・教育・金融・労働・市民で構成している。
	所管による評価とその理由、課題・問題点					
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	各事業に対する効果検証を行い、その評価に基づいて必要な見直し等を行っている。				
	企画政策課での評価とその理由					
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	PDCAサイクルに基づき、事業評価及び見直し等を実施しているため、当初の目的を達成していると認められる。今後も検証をし、必要に応じ、見直しを行うものとする。				
政策調整会議での評価とその理由						
庁議における方針						

ACT (改善)	29年度活動指標(アウトプット)の設定		29年度成果指標(アウトカム)の設定	
	策定会議幹事会、策定会議、推進会議の開催及び議会での検証。		PDCAサイクルに基づいて各事業の効果検証を施し、施策・事業の見直しを行う。	
29年度における事務事業スケジュール		平成29年度における具体的な目標		
H29.8月 ・総合戦略策定会議幹事会 ・総合戦略策定会議 ・総合戦略推進会議 ・議会での検証		各事業で設定した数値目標及びKPI(重要業績評価指数)についてPDCAサイクルに基づいて効果を検証した上で、必要に応じた見直しや新たな施策や事業の必要性など、より実効性を高め、目標の達成を目指していく。		

平成28年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
6	05	05	03	協働のまちづくり推進事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	09	05	協働のまちづくり推進事業

実施計画整理番号	
605050303	
総合戦略整理番号	41101

P L A N (計 画)	事務事業の概要	
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
	人口減少・少子高齢社会を迎え、市民参画・市民協働のまちづくりを推進する。	「茂原市まちづくり条例」の議会上程・議決を目指すとともに、条例制定記念フォーラムの開催や地域等での説明会、職員を対象とした研修の実施等により、市民及び職員の意識啓発を図る。
	平成28年度の具体的な目標	平成28年度スケジュール
<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり条例の制定・施行 ・職員の意識の醸成 ・市民への浸透 	まちづくり条例を適切に運用し、進行管理を行う。	

区分	単位	H26年度			H27年度			H28年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	0	0	0	0	51	51	0	1,293	291
財源内訳	国補助	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	0	0	0	0	51	51	0	1,293

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	協働意識の普及・啓発活動	0	51	0	3回の市民活動団体・地域まちづくり協議会交流会を開催したが、講演会の開催まで至らなかった。今後も継続する。
②	協働事業提案サポート講座の開催	0	131	96	2回の講座を開催した。隔年で開催し、今後も継続する。
③	協働事業提案制度の運営	0	316	0	協働事業提案サポート講座を2回開催したが、協働事業補助金の支出まで至らなかった。今後も継続する。
④	地域まちづくり協議会の支援	0	495	195	3地区に講師を派遣し、2地区の地域まちづくり協議会を認定した。今後も継続する。
⑤	市民活動の支援	0	300	0	9団体の市民活動団体を認定したが、市民活動団体補助金の支出まで至らなかった。今後も継続する。
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		0	1,293	291	

平成28年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)
<ul style="list-style-type: none"> ・市民活動団体の認定 9団体(平成28年度末現在) ・市民活動団体交流会 3回(うち2回は協働事業提案サポート講座と併催) ・地域まちづくり協議会の認定 2団体(平成28年度末現在) ・地域まちづくり協議会設立支援事業(講師派遣)3地区 ・協働事業提案サポート講座 2回

D
O
(
実
施
)

平成28年度 事務事業評価シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
6	05	05	03	協働のまちづくり推進事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	09	05	協働のまちづくり推進事業

整理番号	
605050303	
総合戦略 整理番号	41101

28年度活動指標(アウトプット)の達成状況		28年度成果指標(アウトカム)の達成状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・市民活動団体交流会の開催回数 3回 ・協働事業提案サポート講座の開催回数 2回 ・地域まちづくり協議会設立支援事業(講師派遣)の開催回数 3回 		<ul style="list-style-type: none"> ・市民活動団体の認定数 9団体 ・地域まちづくり協議会の認定数 2団体 	
妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由	
A:妥当である	まちづくり条例に基づく協働のまちづくりの推進は、市が関与すべき事業である。	B:やや有効である	より良いまちづくりのために、協働のまちづくりの推進は必要である。
「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由	
A:実現している	市民活動団体及び地域まちづくり協議会と情報を共有しながら、施策を推進している。	A:実現している	市民活動団体及び地域まちづくり協議会の参加を得ながら、施策を推進している。
「協働」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由	
A:実現している	市民活動団体及び地域まちづくり協議会と目的を共有し、適切に役割を分担している。	A:実現している	市民活動団体及び地域まちづくり協議会と目的を共有し、適切に役割を分担している。
所管による評価とその理由、課題・問題点			
B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)	市民活動団体及び地域まちづくり協議会の設立支援に取り組んだが、補助金の支出までには至らなかった。		
企画政策課での評価とその理由			
B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)	各種取り組みにより、市民活動団体及び地域まちづくり協議会の認定及び支援に一定の成果が認められるが、更なる市民活動の活発なまちづくりを推進するものとする。		
政策調整会議での評価とその理由			
庁議における方針			

29年度活動指標(アウトプット)の設定		29年度成果指標(アウトカム)の設定	
<ul style="list-style-type: none"> ・市民活動団体・地域まちづくり協議会交流会の開催回数 ・市民活動支援センターのあり方検討委員会の開催回数 ・協働提案事業の採択件数 		<ul style="list-style-type: none"> ・市民活動団体の認定数 ・地域まちづくり協議会の認定数 ・協働提案事業の実施回数 	
29年度における事務事業スケジュール		平成29年度における具体的な目標	
7月 市民活動支援センターのあり方検討委員会委員の公募 8月 市民活動支援センターのあり方検討委員会(~3月) 8月 協働提案事業の募集 9月 協働提案事業の審査・採択 通年 市民活動団体・地域まちづくり協議会の支援		<ul style="list-style-type: none"> ・市民活動団体の認定数 延べ10団体 ・地域まちづくり協議会の認定数 延べ3団体 ・協働提案事業の実施回数 2回 ・市民活動支援センターのあり方についての提言とりまとめ 	

CHECK (評価)

ACT (改善)

平成28年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
6	05	05	04	マスコットキャラクターPR事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
6	01	04	03	マスコットキャラクターPR事業

実施計画整理番号	
605050401	
総合戦略整理番号	-

PLAN (計画)	事務事業の概要	
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
	マスコットキャラクター「モバリん」をPRし、茂原市の知名度、イメージを高め地域振興を図る。	歌やグッズを製作、またJR車両のラッピング等の広告により、モバリんのPRを図る。
	平成28年度の具体的な目標	平成28年度スケジュール
<ul style="list-style-type: none"> ・千葉キャラ運動会(千葉テレビ)等出演により、「モバリん」のPRを実施する。 ・新たなモバリんグッズの販売を実施する。 ・モバリんグッズの売り上げ向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・モバリんグッズ新デザイン考案・販売 ・市内運動会、千葉キャラ運動会(千葉テレビ)等に登場させモバリんをPRする。 ・モバリんインタビューボードを活用し広報活動を実施する。 	

区分	単位	H26年度			H27年度			H28年度			
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	
事業費	千円	1,528	1,528	1,477	1,428	1,298	1,056	1,428	1,895	1,633	
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	千円	1,300	1,300	595	1,300	0	696	1,300	600	622
	一般財源	千円	228	228	882	128	1,298	360	128	1,295	1,011

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	「モバリん」の歌の作成・PR	0	0	0	
②	キャラクターグッズの製作	540	692	691	スライドミラーやミタールを作製し、市役所をはじめ市内店舗やイベント会場において販売を実施した。
③	着ぐるみによるPR活動	139	1,043	783	千葉キャラ運動会(千葉テレビ)や市内イベントにおいて、モバリんを登場させPRを実施した。
④	「モバリん」の広告活動	192	160	159	全国ゆるキャラグランプリへのエントリーにより、メディアに対する広報活動を実施した。
⑤		0	0	0	
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		871	1,895	1,633	

平成28年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)
<ul style="list-style-type: none"> ・市内運動会、千葉ゆるキャラ運動会(千葉テレビ)等で、「モバリん」を登場させ、モバリんのPRを実施した。 ・茂原桜まつり、茂原七夕まつり、茂原産業まつりにおいてモバリんグッズを販売した。 ・モバリんLINEスタンプの販売を実施した。

DO (実施)

平成28年度 事務事業評価シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
6	05	05	04	マスコットキャラクターPR事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
6	01	04	03	マスコットキャラクターPR事業

整理番号	
605050401	
総合戦略 整理番号	-

CHECK (評価)	28年度活動指標(アウトプット)の達成状況		28年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	PR活動については、市内運動会6件、千葉キャラ運動会(千葉テレビ)、健幸むつぎわロードレースに登場した。		グッズ売り上げ数は、ストラップ102個、キーホルダー95個、ネックホルダー82個、スライドミラー42個、フェイスタオル19枚、ハンドタオル41枚、ミニタオル976枚、プラコップ757個、クリアファイル118枚、ピンバッジ764個、ぬいぐるみ(L53個、S110個)、クッション5個、ワッペン22枚、Tシャツ48枚、CD5枚で、売り上げ金額は、合計621,557円であった。			
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由	
	A:妥当である	多くの自治体においてPRのツールの一つとして、キャラクターを設定している。	B:やや有効である	市の魅力を発信するうえで重要ではあるが、多くの自治体を実施しているため有効性が薄くなる。	B:やや効率的である	市内における知名度は高まりつつあるが、今後の展開が重要である。
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由	
	A:実現している	ホームページ公表、観光ガイドブック掲載等により情報発信を実施。	B:実現に向けて取り組んでいる	モバリんグッズ取扱店からの意見を取り入れている。	B:実現に向けて取り組んでいる	問題解決に向けて、モバリんグッズ取扱店と協議している。
	所管による評価とその理由、課題・問題点					
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	着ぐるみの貸し出し頻度が高く、維持管理が困難な状況である。また、多くの自治体がキャラクターを保有しており、本来の目的が薄れていることから、他自治体と違う方向性を出さなければならない。				
	企画政策課での評価とその理由					
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	多くの場所でPR活動を実施しており、効果が認められる。新たなグッズの作成等、更なるPRIに努めるものとする。				
政策調整会議での評価とその理由						
庁議における方針						

ACT (改善)	29年度活動指標(アウトプット)の設定		29年度成果指標(アウトカム)の設定	
	<ul style="list-style-type: none"> ・市内でのPR活動回数 ・各種イベント参加回数 		グッズ売り上げ販売数	
29年度における事務事業スケジュール		平成29年度における具体的な目標		
<ul style="list-style-type: none"> ・新モバリんTシャツ考案・販売 ・新モバリんデザイン考案 ・新モバリんグッズ作製・販売 		モバリんデザインを新たに考案し、新モバリんグッズに使用し、売上向上に努める。		

平成28年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
6	05	05	04	ふるさと茂原まちづくり応援寄附推進費

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	09	06	ふるさと茂原まちづくり応援寄附推進費

実施計画整理番号	
605050402	
総合戦略整理番号	-

事務事業の概要	
事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
ふるさと納税を推進する。	「ふるさと茂原まちづくり応援寄附」として1万円以上の寄付をしてくれた個人又は団体に対し、謝礼品として本市の産品を贈呈する。
平成28年度の具体的な目標	平成28年度スケジュール
「ふるさと茂原まちづくり応援寄附」として1万円以上の寄付をしていた個人又は団体に対し、謝礼品として本市の産品を贈呈するとともに、寄付者の利便性の向上を目指す。	webサイトからの寄附申込み及びインターネット決済を導入するとともに、記念品を拡充することで、ふるさと納税のさらなる推進に加え、地域産業の振興を図って行く。

区分	単位	H26年度			H27年度			H28年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	0	90	30	0	168	168	0	17,100	4,159
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	0	90	30	0	168	168	0	17,100

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	寄附者への謝礼品の送付	0	16,644	3,951	寄附件数及び金額(記念品希望分)472件、14,678,967円 今後も10,000円以上の寄附者に対し記念品の送付を継続する
②	ポータルサイトの利用	0	456	208	記念品を希望した寄附件数:472件/内「ふるさとチョイス」経由の寄附件数:430件/内クレジットカード決済利用件数:390件 寄附者の利便性向上のため、今後もポータルサイトの利用を継続する
③		0	0	0	
④		0	0	0	
⑤		0	0	0	
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		0	17,100	4,159	

平成28年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)

- 平成28年6月1日より、寄附者の利便性向上のため、「ふるさとチョイス」からの寄附申込受付及びクレジットカード決済を導入
- 記念品の開発・発送にかかる業務を専門業者に委託し、平成28年12月1日より記念品を大幅に拡充(平成28年度当初は、謝礼品として3,000円相当(送料を含む)の品を想定していたが、周辺自治体の動向等を踏まえ本市も本格的に記念品を拡充することとなり、新規記念品として5,000円相当(送料・委託料を含む)の品を追加した。)

平成28年度 事務事業評価シート

基本計画					予算科目					整理番号	
章	節	項	細	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	605050402	
6	05	05	04	ふるさと茂原まちづくり応援寄附推進費	2	01	09	06	ふるさと茂原まちづくり応援寄附推進費	総合戦略 整理番号	-

CHECK (評価)	28年度活動指標(アウトプット)の達成状況					28年度成果指標(アウトカム)の達成状況				
	・新たに56種類の記念品を追加した。 (当初6種類→拡充後62種類) ・茂原市ホームページ、「ふるさとチョイス」への掲載等により周知を図った。					・平成28年度寄附件数(記念品対象分): 472件…① ①の内「ふるさとチョイス」を利用した件数: 430件…② ②の内クレジットカード決済を利用した件数: 390件 ・平成28年度寄附金額(記念品対象分): 14,678,967円				
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由			効率性の評価とその理由				
	A: 妥当である		A: 有効である			B: やや効率的である			お礼の品の選定、記念品の発送等には専門的な知識・技術が求められ、一定のコストがかかる。	
	寄附者の手続上の負担を軽減するため利便性を向上させるとともに、広く周知を図ることは市の事業として妥当である。		お礼の品の贈呈はふるさと納税の推進、また地域産業の振興等の副次的効果も得られるものであり、有効である。							
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由			「協働」の状況とその理由				
A: 実現している		A: 実現している			A: 実現している			記念品を市内事業者から調達している。記念品提供事業者も、CSRや市の発展への寄与の意識をもって臨む方が多い。		
ホームページ等においてふるさと納税制度について周知した。		寄附金の用途を選択できるようにすることで、寄附者に参加の機会を提供している。								
所管による評価とその理由、課題・問題点										
A: 十分な成果を挙げた(達成度8割以上)		28年度当初は「ふるさとチョイス」からの寄附申込受付及びクレジットカード決済の導入のみを予定していたが、9月補正予算を要求し12月から返礼品の拡充も実施した。その結果、上記指標のとおり前年度と比較して、ふるさと納税の大幅な推進が図られた。								
企画政策課での評価とその理由										
B: ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)		クレジットカード決済を始めたことにより、寄附者の利便性の向上が認められた。また、記念品拡充したことにより、寄附件数が図られ、大きな効果が認められる。								
政策調整会議での評価とその理由										
庁議における方針										

A C T (改善)	29年度活動指標(アウトプット)の設定					29年度成果指標(アウトカム)の設定				
	・市ホームページ、「ふるさとチョイス」等における広報の充実 ・新規記念品の追加: 3種類 ※平成29年4月総務省通知により、3割以下とする等返礼品の自粛を求める動きがあるため、新規記念品の追加に際しては、今後も国県の動きを注視する必要がある。					平成29年度の寄附件数(記念品対象分): 575件 平成29年度の寄附金額(記念品対象分): 23,000,000円				
29年度における事務事業スケジュール					平成29年度における具体的な目標					
年間を通して、 ・「ふるさとチョイス」への掲載、寄附の受付 ・記念品の拡充					・記念品を拡充する(3種類) ・「ふるさとチョイス」の利用により本市ふるさと納税の周知、寄附者の利便性の向上を図る					